

一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656

(4月号)

◆一般社団法人東靴協会誕生◆

長期に渡り検討を続けていた、一般社団法人への移行は手続きが全て終了し、移行申請が承認され4月1日より一般社団法人東靴協会として生まれ変わりました。役員、会員の皆様をはじめ顧問の江原先生、高野総合会計事務所の方にも大変お世話になりました。基本的な事業の遂行などは今までの業務をそのまま引き継ぎますが、これを期に更に会員の皆様のご協力を頂き、お役に立つ協会としての活動を、ご期待下さい。

第85回

定時(予算)総会開催

東靴協会第85回予算総会が3月22日午後2時より西村記念ホールに於いて開催された。

司会の川上副会長から委任状を含め116名の参加で本日

の総会の成立を確認し、議長に小堤会長を選出し、議長は議事録署名人に小沢氏、森氏を選出し議事に移った。

第一号議案

平成25年度事業計画案

承認の件

佐宗秀行専務理事から資料に基づき事業計画書の説明があり、満場一致で可決承認された。

第二号議案

平成25年度収支予算案

承認の件

佐宗秀行専務理事から資料に基づいて事業計画書の説明があり、満場一致で可決承認された。

第二号議案

役員の辞任、

移動についての件

一般社団法人移行の関係から新定款に基づき、田中省一理事、栗原昭宣理事の辞任の議案を提出し承認された。

総会は無事に終了した。この総会は社団法人東靴協会として、最後の総会となった。

今後は一般社団法人として年一回の総会で決算、予算を同時に行うことになる。

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

靴の記念式典挙行

日本靴連盟主催の靴の記念式典が三月十五日(金)午前十一時より東靴協会西村記念ホールにおいて48名が参加して挙行された。



栗原茂常務理事の司会の下、日本靴連盟副会長(社)皮革産業連合会会長、岩崎幸次郎氏が、「アベノミクスで世の中に期待と希望感がでているが、実質的な経済効果が出ることを期待する。」と開会の挨拶。主催者の日本靴連盟、大野晴治会長が「円安、株高で期待感が出てきたが、欧米の経済は決して健全とはいえない。その中、日本の行方が注目されている。」と挨拶。

日本靴連盟、大澤重見顧問は「西村勝三が明治3年に靴造りを始めて以来諸先輩方が日本人の足に合った靴作りで発展をしてきた。現在も大変厳しい環境だが、先輩のご苦勞を思い努力をしていかなければならない。」と挨拶した。続いて神事に移り神田明神の神主様の進行で進んだ。



玉串奉奠は、佐倉藩藩主の御末裔の堀田正典氏に続き経済産業省紙業服飾品課長・坂本敏幸氏、大野晴治氏、大澤重見氏、岩崎幸次郎氏、当協会会長・小堤幸雄氏、日本靴連盟理事・春田英二氏、協同組合資材連理事・久保田清人氏に続き参加者全員が二礼二拍手を行い式典は無事に終了した。

その後、堀田正典氏、坂本敏幸氏にご挨拶をいただき、矢代裕夫副会長の発声で乾杯に移り、小堤幸雄氏の中締めで懇親会も終了した。

大田区消費者講座開催

大田区消費者生活センター主催の消費者講座が3月19日火曜日開催された。

「私の足、だいじょうぶ？」

自分にあつた靴を考てみよう」の演題で日本靴小売商連盟シューフィッター講師・東靴協会の小堤幸雄会長が講座を行った。

当日は消費者35名が参加し協会から佐宗秀行専務理事もアシスタントとして協力した。なぜ靴が「番大切か！」から始まり購入のタイミング、正しい靴選び・履き換えは必要・良い靴とは・高齢者の足のトラブル。など講義が進んだ。

そして靴の履き方・靴合わせ・足について説明の後シューフィッターの役割、必要を説明し終了した。

途中、多岐に渡る質問があり、講座終了後も受講者が小堤会長に次々と質問をしていた。



2013年 秋の ファッション シューズ傾向

アジアリング株

消費者の「安心できる消費」への欲求は高まる一方。汎用性の高い商品、いつでも履ける商品の人気が高い。一方、これまで低価格化が進んでいた市場も、中々高価格の高品質商品の動きが活発化してきている。店頭でも価格以外の魅力、訴求が重要となってきた。

◆レディースの傾向

これまで日本人女性性は「可愛さ」を重視してきた。しかし今秋冬はマスキュリン(男性的)を中心とした「カッコ良さ」が重視される。そのため尖った木型、細いヒールが復活。花などの装飾も減り、シルエツト、素材、色などで、変化を見せる。

今秋冬は素材コンビ、色コンビなどが増える。デザインで見るのではなく、これらの組み合わせの面白さ、新鮮さを打ち出したい。

○ブーツ系

中心はブーティ(ショート)。エレガンス、カジュアル共に、短め丈人気は継続。ショート系はポ

インテッドトゥ(尖がり木型)を用い、新鮮さを出したい。

デザインはトラッドやアメリカを基本にしたものが増加。サイドゴア、ウエスタン、ワークなどをアレンジした商品が増える。ヒールの有無などで、客層を変えたい。



サイハイブーツ

今年は久々にロングブーツ、ニーハイ(膝上丈)ブーツ、サイハイ(太腿丈)ブーツも登場。特にストレッチ素材を使用した商品は、これまで姿を消していたので、期待したいところ。

ファー、ムートン、ボアも継続。履き口にあしらう、折り返すなど、部分的に見せるのが主流。ショート、ロングに関係なく取り入れられる。今年は毛足

の長いファーが注目されているので、ブーツカバー風取り入れも登場。

○エレガンス系

ポインテッドトゥ、細めヒールが増加。フェミニン(女性らしい)パンプスは、大きめのリボンや花といった装飾が控えられ、可愛らしさが抑えられる。マスキュリン(男性的)パンプスは、トラッドアレンジデザインが中心。ブーティ感覚の甲深パンプスが増加。ヒールアップローファーと共に、オックスフォード(紐靴)に代わる動きを見せる。



サイドゴアブーツ



甲深パンプス

○カジュアル系

スリッポンのバリエーションが増え、人気も高まる。オペラシューズ(鬼ぐりスリッポン)がベタ系の主流となりつつあり、バレエシューズを凌駕する。素材感で今年らしさを表現しよう。



オペラシューズ

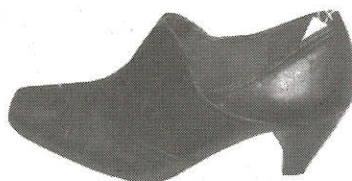
ローファー、カッターなどの定番商品は、木型、素材の変化で見せる。昨年の鉤使いのような過激な装飾は無くなる。

○ミセス

ミセスでは「歩きやすいが、キレイに見える靴」が望まれている。足が細く見えるシルエツト、若干のヒールでエレガントに見える工夫が必要だ。

ティーンズ、ヤング向けのデザインでありながら、履き心地や足当りの良さ、歩きやすさをデザインの中で表現している靴が、ここところ多く提案されてきている。ミセスにはこういう

商品や、高品質で、汎用性の高い商品が人気だ。トラッドアレンジのブーティやショートブーツなどは、ヤングでの流行でもあるが、ミセスも好きな商品なので、ヒール、足入りに配慮したものを展開しよう。



トラッドアレンジブーティ

◆メンズの傾向

メンズでは、レディース化が加速している。レディースで流行ったモノ、傾向がメンズでも取り入れられるので、レディースとの連動性も視野に入れておきたい。

メンズでも汎用性が重視されるようになってきた。これまでは有名老舗ブランドなどに対するこだわりが強かったが、今の若者には全くない。ブランド毎の陳列、POP、ショウカードの内容などにも、見直しが必要になってきている。

○ブーツ

これまではエンジニア、ワーク

などの男っぽいアメリカ系のブーツが主流となっていた。しかし今年は色、木型、素材、シルエツトなどをキレイに仕上げたブーツが人気となる。ソフト素材使用やシンプルデザインのもの、ショートなど、オンオフ兼用になり得るブーツが、客層も拡大し、期待される。

レディースで大ヒットしたムートンブーツも、冷え性男子の増加で注目だ。



メンズ・シンプルブーツ

○カジュアル

レディースで流行したスリッポン系が、メンズでも登場。カジュアルローファーを含め、モカシン、デッキに続く商品として、期待ができそうだ。

また定番商品も、レディース風な色、柄の取り入れが広がる。アッパーだけでなく、ソールでの取り入れも多い。今年はメンズでもカラーバリエーションを見せよう。

また厚底靴も登場。従来の重い底ではなく、ほどほどのボリュウム感がポイント。厚い底でも、レディースのような軽さを意識したい。



メンズ・カジュアルローファー

○ドレス(ビジネス)

オンオフ兼用商品が拡大し、定着しつつある。カジュアルやスニーカーブランドでも、ビジネスに対応できる商品が多く出てくる。逆に、ドレスブランドでも、普段履きできる商品、コールドネイイトが登場する。その汎用性の高さを訴求し、実売に近づきたい。

ドレスでも紐靴だけでなく、モンク(ベルト使い)、ローファーなどのスリッポン系が増加。懐かしい商品だが、今の若者には新鮮に映るし、脱ぎ履きがしやすいので、期待できる。

○アダルト

若々しいデザインと履きやす

すさの融合が進み、ここでもレディース化が著しい。

アウトドア、トラッドなど定番的なデザインを使用し、キレイに仕上げるのは、ヤングと同じ。有名老舗ブランドと組み合わせ、価格維持を意識しよう。

◆スニーカー&キッズの傾向

スニーカーは客層、用途により、商品の傾向が全く異なる。展開方法や商品構成、陳列などの見直しが必要だ。

キッズは低価格商品が苦戦。利益確保のためにも、付加価値を付けた中々高価格商品の展開が急務だ。

○スニーカー

メンズでは、主力となった靴&ブーツ風スニーカーが落ち着く。流行というより、市場に定着した状態になり、動きも縮小安定化。

注目はランニング。これまで

は実際に走るために開発されたハイテク系の靴が、鮮やかな色使いで人気となったが、今年は昔風の定番的な靴が人気復活。スムーズやスエードなどは紺、ベージュ、グレーといった定番色が中心。現在も高額品が人気となつているが、秋冬にはより拡大が期待される。



ランニングスニーカー

またナイロン素材のシンプルで昔風のランニングは、鮮やかな色が登場。使い分けがなされる。

ボリュウム感のあるスケート系も人気。カジュアル系スニーカーが拡大する。

レディースでは、春に人気のインヒールスニーカーが継続&拡大。ブーツタイプなども登場し、バリエーションが広がる。



インヒールスニーカー

○キッズ(子供靴)

ダンスはますます拡大。学校

の授業だけでなく、ファッションとしても人気が高まる。ファッション傾向に合わせて、商品提案できるようにしたい。

ベビーでは、足の健康を考慮する親が増えているので、価格よりも機能を重視した商品構成が求められる。

女児では、大人化が進む。レディースで流行したインヒールスニーカー、船底スニーカーなどが、子供にも広がる。例年強いエレガンスブーツは、ロングだけでなくショート、ブーツティも欲しい。ムートンやファーブーツも提案しよう。



キッズ・ムートンブーツ

男児では、「早く走れる靴」人気が継続。メンズと同様に、スケート系などのボリュウム感のあるスニーカーにも期待が掛かる。またムートンブーツなどを親子展開で見せるのも良い。

理事会だより

平成二十五年三月二十二日(木)
午後二時 西村記念ホール

参加者22名

議事録署名人に梶泰和、栗原昭宣両理事を選任。

一、靴の記念日催事の予定の件
田中副会長より、「靴の記念日」式典出席の皆さんにお礼、現在進行中の「靴の記念日」催事についての今後の日程等の説明。

二、「中堅社員研修会」研修会

夏期学校(講座)について

小堤会長より、4月17日水曜に開催される標記研修会について内容の説明、夏期学校については「カネコヒール」「栃木レザー」の見学を8月上旬に設定していることが報告された。

三、SF養成講座(大阪4/10)

小堤会長より、表記講座の日程及び詳細について報告があった。

四、一部理事の辞任について

佐宗専務理事より、「一般社団法人移行の關係から新定款に基づき、田中省二理事、栗原昭宣理事の辞任の議案を提出し、承認された。

五、その他(連絡事項)

佐宗専務理事より、「一般社団法人」移行に伴い、理事の代理出席が認められないこととなるため、小堤会長から文書で該当会員に通知する。

業界情報

クラウン製靴民事再生法申請

紳士靴のクラウン製靴(東京調布市)は民事再生法の適用を申請していたが、三月一日に地裁より再生手続き開始の決定を受けた。

昭和33年5月に靴の製造販売業として設立。高級紳士革靴を生産し、全国の専門店、百貨店などに販売。平成24年5月期では、アウトレットを含め15店舗に出展し30億を超えていた。大震災の影響で仙台の2店舗が大きな被害を受けるなど、直近の決算では特別損失を計上するなど厳しい財務状況だった。

さらに株主でもあった材料の仕入先、株式会社原が2月に破産し事業の継続が困難となった。

株式会社 チョダ

新社長に船橋浩司氏

(株)チョダは取締役会において新代表取締役社長を内定し5月の定時総会において決定予定。新代表取締役社長には船橋浩司氏が就任。現在の代表取締役船橋政男氏は代表取締役会長となる。また、専務取締役の船橋民男氏は3月9日に病のため逝去され、役職を退任された。葬儀は家族葬で行い、お別れの会(日時未定)を行う予定。



板橋支部

板橋支部(長谷川孝一支部長)では新春恒例の新年会を、若手の参加も期待し、新年懇親会の前にボーリング大会を合わせて、二月十二日に開催した。当日は夜半より降雪の予報が出されるような大変寒い日となりましたが、支部加盟店の半数が参加する催しとなりました。

ボーリング大会は大熱戦となり、参加者全員クロスで200点を越し大変盛り上がった。

表彰式に続き懇親会は、1月分の会計報告、役員挨拶、来賓挨拶に続き乾杯で宴席へ移った。中華料理に舌鼓を打ち、会員同士に話が弾み楽しい時間を過ごした。また来年も開催することを約束して本締めで会はお開きとなった。

商売環境が低迷する中、会員の少しの息抜き場として、明日への活力につながることを願い、有意義な会となった。



お詫びと訂正

☆前号でお知らせした

「栃木レザー」と

「カネコヒール」の工場見は

夏期講座で行いますので、

8月7日(水)開催予定

となります。

お詫びして訂正いたします。

詳細・参加お申し込みは

事務局(03-562-5656)まで

会員計報

三島政治氏

神田支部

三島商事代表取締役

平成二十五年三月十二日

心臓疾患

享年七十歳。

東京都中小企業景況調査(2月)

業況：改善に向かう
見通し：高まる期待感に一服

卸売業			業況		
対象数	回答数	回答率	2月	今後3か月間見通し(当月比)	
875	319	36.5%	悪い 100	良い 0	悪い 100
衣料・身の回り品	1. 男子服				
	2. 婦人・子供服				
	3. 靴・履物				
	4. かばん・袋物				
	5. 装身具・身の回り品				
小売業			業況		
対象数	回答数	回答率	2月	今後3か月間見通し(当月比)	
875	255	29.1%	悪い 100	良い 0	悪い 100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具				
	2. 男子服				
	3. 婦人服				
	4. 子供服				
	5. 靴・履物				
	6. かばん・袋物				
	7. 雑貨・身の回り品				
	8. 時計・眼鏡				
	9. ジュエリー製品				

景況についてのアンケート結果(対象月…25年3月)

全体的な業況		
良い		30.8%
悪い		38.4%
変わらず		30.8%
売上げ		
前月比	増えた	53.8%
	減った	7.8%
	同じ	38.4%
前年同月比	増えた	38.4%
	減った	23.2%
	同じ	38.4%
販売価格は前月比		
	騰貴した	7.8%
	下落した	0.0%
	同じ	92.2%
販売経費は前月比		
	増えた	7.8%
	減った	15.3%
	同じ	76.9%